

2009年6月10日



## バイオ油原料植物研究販売企業への出資

～ジャトロファ種苗を使ったバイオディーゼル(BDF)事業への取り組み～

豊田通商株式会社(以下:当社、本社:名古屋市、社長:清水順三)は、このたび、バイオ油原料植物の研究販売会社である JOIL(S) PTE.LTD. 以下:JOIL(ジェイオイル)、本社:シンガポール国、社長(Chairman): Dr. Tan Guong Ching (タン グオン シン) に資本参加いたしました。今後、当社は、アジア・アフリカ・中南米地域において、バイオ油原料ジャトロファ種苗事業を展開してまいります。

### 1. 背景

当社は、従来より高効率・高品質のバイオディーゼル(BDF)製造プロセスの開発に参画するなど、BDF事業に積極的に取り組んでまいりました。

BDF事業は、原料費コストが半分以上を占め、非食料の原料を、安定して、低コストで調達することが不可欠と言われています。そのため、当社は、BDF事業を進めるにあたり、その入口であるバイオ油原料の確保を目指してまいりました。

### 2. バイオ油原料植物「ジャトロファ」

ジャトロファは、高品質な種油で注目されている非食料植物です。非農地でも管理がしやすい樹木で、将来、安価に供給できる可能性のある地球にやさしいバイオ油原料です。Temasek Life Sciences Laboratory Ltd.(TLL /シンガポール政府系研究所)は、ジャトロファの品種改良を推進し、優良種を大量に生産する組織培養の技術を確立しました。JOILは、特許技術の独占実施契約をTTLと締結しており、優良種苗の大量生産販売事業を展開していきます。

### 3. 次世代燃料のバリューチェーン構築に向けて

このたび当社は、JOILへの出資により、ジャトロファ種苗の販売および農園の開発に参入する機会を得ました。今後は、アジア、アフリカ、中南米地域において、ジャトロファ種苗を拡販してまいります。将来的には、石油で言うなら油田にあたる農園(=バイオ油田\*)の開発・拡大と効率経営を目指します。また、地球環境にやさしい次世代燃料BDFの安定供給を目指し、原料入手からバイオ燃料供給のバリューチェーン構築に向けての開発を推進してまいります。

\*バイオ油田は、当社の商標登録です。

本件は貿易記者会、中部経済産業記者会に同時に資料配布しております。

【本件の問合せ先】

豊田通商株式会社	広報・IR室(東京)	石田・下陸	Tel:03(5288)2084
	広報・IR室(名古屋)	小西・六浦	Tel:052(584)5011

## 【参考資料】

### 《 JOIL 会社概要 》

会社名 : JOIL (S) PTE. Ltd. (ジェイオイル シンガポール)  
本社所在地 : シンガポール国  
設立 : 2008年8月  
資本金 : 75百万シンガポールドル  
株主構成 :

- Temasek Life Sciences Laboratory Ltd.  
(テマセック研究所(TLL))
- Temasek Life Sciences Ventures Pte. Ltd.  
(テマセックベンチャー(TLV))
- Wuthelam Holdings Pte. Ltd.  
(ウサレムホールディング(WH))
- TATA CHEMICALS LIMITED  
(タタケミカル(TATA))
- 豊田通商

代表者 : (社長) Dr. Tan Guong Ching (タン グオン シン)  
事業内容 : 改良ジャトロファの研究開発、生産及び農園用優良種苗販売

### 《ジャトロファ》

